

<近畿ブロック大会における予防対策>

- ・手指消毒の励行、手洗いの徹底
- ・競技及びウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・「3密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避
- ・禁煙の推奨
- ・毎日の健康と行動の記録（体調管理チェックシート）の提出・必要に応じた事後報告
- ・大声での会話・応援の自粛
- ・厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」及び大阪府の「大阪コロナ追跡システム」の利用推奨
- ・大会期間中の不要不急な会食の自粛

・実行委員会

- ①本ガイドラインを作成し、関係者へガイドラインの周知を行う。
- ②競技会開始日以前、競技会実施日、競技会終了日以降の各時点における、陽性者（疑いを含む）の対応については、別途、基準を定める。
- ③新型コロナウイルス対策室を設置し、関係者への情報提供、行政や医師会との連携を行い、近畿ブロック大会前後の新型コロナウイルス感染症に関わる一切の業務を取り仕切ることとし、関係者に対して、連絡先を明示する。

・参加者において遵守すべき事項

（1）選手団（選手・監督・チームスタッフ（予備登録選手・トレーナー等を含む））

- ①体調管理チェックシートにより、競技会実施2週間前からの健康状態を確認すること。
- ②期間中は毎日検温を実施し、参加者全員分の体調管理チェックシートの記載を確認したうえで、運営責任者へ提出すること。
- ③競技及びウォームアップ実施以外は、原則としてマスクを着用すること。

（2）競技役員・競技補助員・審判・運営スタッフ等

- ①体調管理チェックシートにより、競技会実施2週間前からの健康状態を確認すること。
- ②期間中は毎日検温を実施し、各自、体調管理チェックシートを記載し、運営責任者へ提出すること。
- ③会場内では、原則としてマスクを着用すること。

・会場内において実施すべき事項（競技団体及び施設管理者において実施）

（1）競技エリア

- ①矢取り委員のビニール手袋またはアルコール消毒液使用を徹底すること。
- ②矢の消毒に関しては、矢返し矢箱近くにアルコール消毒液を設置し、参加者各自が行うこ

ととする。

(2) 受付等

- ①受付には、手指消毒用アルコールを設置すること。
- ②人と人が対面する場所は、透明アクリル板やビニールカーテン等で遮蔽する。
または、フェイスシールドなどを準備し、対応することとする。
- ③参加者が距離をおいて（できるだけ2 m、最低1 m）並べるように目印の設置を行うこと。

(3) 手洗い場所・トイレ

- ①手洗い場所には石けん（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ②手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を求めること。（手指を乾燥させる設備は使用しないこと）
- ③トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
- ④手洗いが難しい場合は、手指消毒用アルコールを用意すること。

(4) 控室・更衣室などの諸室

- ①広さにはゆとりを持たせ、密になることを避けること。
- ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ④換気扇を回す、窓を開ける等、換気に配慮すること。

(5) 休憩場所（飲食場所）

- ①参加者が距離をおいて（できるだけ2 m、最低1 m）並べるように目印の設置を行うこと。
- ②休憩場所を設置する場合は、密を避けることができるよう座席数に留意し、対面での飲食は避けること。設置する備品（テーブル・椅子等）は定期的に消毒すること。

【追記】

大会は、無観客で実施する。

各府県スポーツ協会等関係団体の視察者を入場させる場合においても、人数を最小限に限定するとともに本ガイドラインおよびガイドライン別紙「新型コロナウイルス陽性者（疑いを含む）の対応の基準」を徹底し、入場者の氏名・選手との続柄・連絡先等を記録することとする。